

ようそ

Side by Side

第87号

編集責任：延藤

編集担当者：延藤 実田 岡

正木リーダー
お疲れ様でした！



遠野
まごころ
ネット

正木亮宏さん（24） 熊本県熊本市

「熊本県熊本市から来ました。正木といいます。えー、「ちょっと話して」……」のフレーズでお馴染みの正木亮宏さん。これを聞かないと一日が終わった気がしないという声もちらほら。つなぎを着た姿は土建業者の中堅といったところだが、実はまだ大学生（とこれで初めて知った驚いた方もおられるでしょう）。

大学の授業の関係で半年間の空きができ、ボランティアに行くことを決めた。まず福島のボランティアセンターで活動し、そのまま北上し遠野まごころネットに来た。こちらでは大槌町に1ヶ月ほど、それから釜石・箱崎隊に移りおもにきつい現場のリーダーを務めた。7月の終わりには写真班のリーダーになった。前リーダーが病気で活動がつづけられなくなり解散一步手前の写真班を切り盛りしたのは彼だった。彼は現場作業を得意としているが大きな体を持て余しながらも写真班の活動に取り組み、現在は後任が見つかり8月下旬からまた箱崎隊にもどり隊長を務めることになる。そのあいだにも釜石市ボランティアセンターが主催する、被災地の子供たちを九州に旅行に連れて行くプログラムの引率者も務めるなど、内外とわざたくさんの場所で重要な役割を担った。

もともと9月4日に帰る予定だったが大雨の影響で活動が休止したため、小川造りが完成するまで帰宅を延ばして懸命に取り組むことになる。大雨が降っても土砂崩れが起きな

いように山水を海岸まで引くという、無謀ともいえる護岸工事は6日に見事に完成した。

ボランティア活動とは直接関係ないが、彼は「ちょっと話してみない会」（第60号参照）を主催していた。個人で参加したボランティアが横のつながりを持つるようにと、毎晩開催されていた。ここに参加して仲良くなったという人は多く、情報共有や自分の悩みをみんなで共有し気持ちが楽になった人もたくさんいる。さらにはボランティアについて再考する機会になったという声もある。

正木さんが最後に開いた9月3日の会には30人ものボランティアが集い、パーティのように大いに盛り上がり、お祝いのケーキも出された。みんなから本当に愛されているということがよくわかります。その会の終わりに彼はこう言った。「自分はリーダーだからといって作業着を汚さないというのは性に合わないんです。ただ指示して見守るだけではダメだと思うんです。一緒にやるほうが危険についても気づきやすいんです。作業着は汚すためにありますから」。最後は仲間たちに巨漢を制上げされお開きとなつた。これからは秋葉和彦さんが引き継ぐことになっている。

「帰ろうと思ったことはありませんか？」という筆者の問い合わせに対しては、「帰ろうと思ったことはなかったけど、ずっと続けていたのでお盆前にはだいぶ疲れていましたよ。でも、お盆休みに仲間たちとはしゃぎ回って元気になり、またがんばろうと思いました。バカができる素晴らしい仲間（通称：遠野エイト）がいて、本当によかったです」

最後に、長く続けることによる心境の変化・普段考えていたことについては、「長くいるから偉いわけではなく、あくまでベクトルの違い。熱意の大きさは一錯。あと自分はすごく心配性なので、怪我を防ぐ・段取りばかり考えていました。ほんとそれだけです」と語った。（吉・延藤）

お知らせ

明日、9月11日 遠野まごころネット本部正屋
モードルナイトミーティング
会場：遠野まごころネット本部正屋
お越しいただけます。お待ちしております。
また、遠野まごころネット本部正屋にて、9月11日
の様子をお伝えしますので、ぜひ御覧下さい。

※月曜・木曜は休刊日になります。
まごころ種 募集 くわしくはHPへ

本日（土）ボランティアミーティングはPM5:30～@体育館
1/14（金）の宿泊：164人、活動：247人。